

## 鷹峯演習林開設 100 周年記念行事の開催について

一次の 100 年に思いをつなぐー

平成 29 年 12 月 19 日（火）に鷹峯演習林（京都市北区鷹峯桃山町）で開設 100 周年記念行事を開催しました。

本演習林は京都府内に 6 カ所ある演習林の一つで、大正 6 年に京都府が本学の前身である京都府立農林学校の実習林として民有林を購入して設置され、当時は大部分がアカマツの天然林でしたが、今はほぼ全山スギ、ヒノキ及びアカマツの人工林で、一部に演習林で唯一のモウソウチク林があります。

本学下鴨キャンパスから車で 15 分程度の距離にあるため、短時間での実習やモウソウチク林を利用した試験及び調査・研究に利用されています。

当日は、本学の教職員及び学生だけでなく、2ヶ月に1度演習林横を流れる河川を中心に清掃活動いただいている地元団体にもお声をかけさせていただいたところ、会長様を含め3名の方が快く御出席いただき合計38名参加がありました。

天候にも恵まれ本学生命環境科学研究科長のあいさつ、地元団体会長様のお祝いの言葉から始まり、記念植樹、記念標柱及び獣害防止柵の設置並びに演習林内の森林施業及び研究報告を実施しましたので、その一部を紹介します。

### ◆記念植樹及び獣害防止柵の設置

演習林長の植樹指導のもと、記念のシンボルとしてきた山台スギ(職員寄贈)、その周辺にイロハモミジ、他はスギを植栽し獣害防止柵を設置(写真1,2)



写真 1



写真 2

### ◆記念標柱の設置

研究科長始め地元団体会長や標柱の文字を記載した学生等5名で標柱を設置後に全員で記念撮影(写真3)



写真 3



写真 4 (H30. 10 撮影)

### ◆演習林の森林施業報告

演習林職員の実施地の説明後、本学学生森林ボランティア「森なかま」が植栽地

上部で間伐を実施しており、森林への興味から技術の研究鑽に至るまでを報告(写真4)

### ◆演習林の研究報告

学生がモウソウチク林を利用した地下茎の研究を説明(写真5)

盛りだくさんな内容をできたことで、本学が未来につながる樹木を得たことはもとより、未来につながる思いなど多くの参加者の財産となる取組となりました。



写真 5